

令和7年度

東北大学大学院 情報科学研究科

博士課程前期2年の課程
上期 学生募集要項
(令和7年4月入学)

試験日程

令和6年8月27日(火)～8月29日(木)

所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態(自然災害等)が発生し、志願者への緊急の連絡が必要となった場合は、以下のウェブサイトでお知らせします。

<https://www.is.tohoku.ac.jp/>

令和6年6月

令和7年度
東北大学大学院情報科学研究科
博士課程前期2年の課程学生募集要項
(令和7年4月入学)

試験日程 令和6年8月27日(火)～8月29日(木)

令和6年6月

アドミッション・ポリシー

東北大学大学院情報科学研究科は、情報科学に関する高度な専門的知識・技能とそれらを支える学際性並びに数理科学的・社会科学的基礎を有し、社会のニーズを敏感に察知するとともに、自ら問題を発見し、実世界データサイエンスに関する諸問題の解決を文理融合の立場から具体的に推進しうる研究者、高度職業人の育成を目指します。本研究科が目指す新しい“情報科学”の創造に貢献できる人を育てるため、本研究科が培ってきた成果をさらに推し進めようとする学生、いくつかの分野にまたがった研究を積極的に進めようとする学生、すでに学んだところとは異なる分野の研究を志す学生、また、多様なバックグラウンドを有する外国人留学生や社会人などの受け入れを推進します。

具体的には、学際性並びに数理的基礎に支えられた専門的知識と技能をもって社会に貢献しうる高度職業人、さらには、学際科学の新たな発展に貢献する研究者を志す人を求めます。

このため、学生の受け入れにあたっては、一般選抜、早期卒業生選抜、社会人選抜、外国人留学生等選抜及び推薦入学特別選抜の区分を設けて入学試験を実施し、これらの教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。選抜は、研究科内の学術的専門性により7つの群に分けて行い、それぞれの群で、博士課程前期2年の課程、博士課程後期3年の課程のそれぞれにおいて、その特性に合わせて筆答試験、小論文、口述試験の中から適切な選抜方法を選択して設定することで行います。

(博士課程前期2年の課程)

一般選抜、早期卒業生選抜、外国人留学生等選抜では、専門的知識とその展開力を評価する筆答試験及び研究計画と研究意欲等に基づく口述試験等を行い、特に基礎学力を重視して選抜を行います。

社会人選抜では、社会人としての業務歴又は研究内容、基礎学力の評価等を総合的に重視して選抜を行います。

推薦入学特別選抜では、論理的思考力と文章表現力、研究計画と研究意欲等を評価し、特に論理的思考力を重視して選抜を行います。

なお、入学前に、専攻しようとする分野とその隣接分野に関して学部までに習得しておくべき基礎知識と、研究成果の発表を計画的に準備するために必要な技能を身につけておくことを希望します。

博士課程（後期）学生支援事業について

情報科学研究科は平成18年度から、専門性に優れた大学院学生を経済的に支援し、学習環境を整備することを目的とした博士課程（後期）学生支援事業を導入しています。

<詳しいことは、情報科学研究科教務係までお問合せください。>

1. 募集する専攻及び選抜区分

専攻	募集人員	備考
情報基礎科学専攻	40名	左記の募集人員のなかに、社会人選抜（注1）は各専攻4名及び外国人留学生等選抜（注2）は全専攻で10名を含む。また、推薦入学特別選抜の募集人員全専攻で10名を含む。
システム情報科学専攻	53名	
人間社会情報科学専攻	30名	
応用情報科学専攻	47名	
合計	170名	

（注1）社会人選抜に出願できる者は、社会人（注3）であって、原則として2年以上の勤務歴を有し、

2. 出願資格のいずれかに該当する者（p.8参照）

（注2）外国人留学生等選抜に出願できる者は、外国人留学生又は外国の大学において学校教育を受けた者（これらを「外国人留学生等」と総称する。）で2. 出願資格のいずれかに該当する者

（注3）ここでいう社会人とは、官公庁・学校・企業等の技術者・教員・研究者等として経験を有する者である。また、職歴がない場合にも、社会人となる場合があるので、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ問合わせること。

（注4）社会人及び外国人留学生等は、選抜区分に関わらず、事前に必ず配属を希望する研究室（分野）の受入れ予定教員に照会し、入学後の研究計画等について、確認を受けてください。

2. 出願資格

入学志願者として出願できる者は、次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 大学を卒業した者（令和7年3月までに卒業見込みの者を含む）
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者（令和7年3月までに学士の学位を授与される見込みの者を含む）
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（令和7年3月までに修了見込みの者を含む）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（令和7年3月までに修了見込みの者を含む）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（令和7年3月までに修了見込みの者を含む）
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって我が国において、外国の大学の課程を有するものとして文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（令和7年3月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者を含む）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（令和7年3月までに修了見込みの者を含む）
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 学校教育法（以下「法」）第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院において教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月末日までに22歳に達するもの

(注5) 法第102条第2項及び本学大学院通則第11条第9号に定める「大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの」に関する出願資格については、適用しません。

(注6) 出願資格(6)によって出願しようとする者は、事前に情報科学研究科教務係に問合せください。

(注7) 出願資格(9)又は(10)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、あらかじめ情報科学研究科教務係に照会し、本研究科が指定する書類を令和6年6月14日（金）までに提出してください。

3. オンライン出願手続方法及び出願期間

オンライン出願のおおまかな流れは、次のとおりです。

1 募集要項の確認・必要書類の取得



- ・本募集要項で、出願資格（1～2ページ）や提出書類（4～7ページ）等をよく確認してください。
- ・提出書類のうち「卒業（見込）証明書」、「成績証明書」等の証明書類は、事前に在籍（出身）大学等に発行を依頼してください。

2 検定料の支払い



- ・本募集要項5ページの指示に従い、ATM（金融機関、コンビニエンスストア）やインターネットバンキング等をご利用のうえ、指定された銀行口座に振り込んでください。支払う際には所定の手数料がかかります（志願者負担）。
- ・振込後、ATMの利用明細（写）、インターネットバンキングの振込完了画面のコピー等、振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるものを「検定料納付確認書」に貼り付けてください。

【注】出願登録、検定料の納入だけでは、出願したことになりません。

3 TAO出願登録サイトで出願登録



- ・The Admissions Office のウェブサイトアクセスし、アカウント作成後、志願者の情報等の必要事項を入力してください。<https://admissions-office.net/>
- ・提出書類（4～7ページ）のうち、アップロード書類を登録してください。
- ・登録後は、登録した内容は変更できません。登録するときは、誤りのないように確認しながら慎重に行ってください。
- ・一時保存の機能がありますので、確認などに有効に利用してください。
- ・出願が完了すると、「出願完了のお知らせ」がメールに届きます。

4 出願書類の発送（7月11日（木）必着）



- ・提出書類（4～7ページ）のうち、郵送書類を「速達・簡易書留」で郵送してください。募集要項に記載された期日までに到着しない場合、出願は受け付けませんので、注意してください。

出願手続は、検定料の納入を経て、インターネット上での出願情報の登録、出願期間内に必要な出願書類を速達・簡易書留郵便で本学に発送（期間内必着）することで完了します。

検定料の納入及びインターネット上での出願情報の登録だけでは出願手続が完了しませんので注意してください。

志願者は、指定のオンライン出願システム The Admissions Office（以降、TAO システムと表記します。）を使って下記の手順に従い、出願期間内に出願手続きを行ってください。

【方法】

1. 下記 URL にアクセスし、会員登録をクリックするとアカウント作成の画面が出ますので、必要事項を入力してアカウントを作成してください。
<https://admissions-office.net/>
2. アカウント作成後、上記 URL からメールアドレスとパスワードを入力してログインし、「募集検索」メニューを利用し「東北大学/情報科学研究科」を検索し、TAO システム及び下記の指示に従って出願してください。
3. 出願に必要な書類は、以下の表のとおりです。TAO システムに入力またはアップロードする書類（A）と郵送で提出する書類（B）がありますので注意してください。なお、TAO システムへのアップロードの際に使用できるデータは、PDF ファイルに限ります。

【出願期間】

(A) TAO システムでの出願期間

令和6年6月26日（水）9：00から7月11日（木）23：59（日本時間）まで

(B) 郵送提出書類の受付期間

受付期間：令和6年6月26日（水）から7月11日（木）まで（受付期間最終日必着）

郵送先：東北大学情報科学研究科教務係

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09

郵送提出書類は、以下の表「No.9 郵送書類提出用封筒」に同封のうえ、速達・簡易書留郵便で郵送してください。

窓口で提出する場合は、以下の表「No.9 郵送書類提出用封筒」に同封のうえ、上記受付場所に設置の出願書類受付用ボックス（受付時間：土・日曜日を除く午前9時から午後4時30分まで）に提出してください。

No.	提出書類等	摘要	提出方法
1	入学願書及び履歴書	TAO システムの入学願書フォームに必要事項を入力してください。	A
2	配属希望調書	TAO システムの配属希望調書フォームに必要事項を入力してください。 ・一般選抜の受験生は、第1～7群のなかで希望する群を1つ選び、その選んだ群のなかから希望する研究室番号を選択して記入してください。最大で第3希望まで選択可能です。 ・外国人留学生特別選抜または社会人特別選抜の受験生は、第1希望しか選択できません。第2希望以降は記入しても無効となります。	A
3	写真票	TAO システムの写真票フォームに必要事項を入力してください。 ・正面向・上半身・無帽・無背景の3か月以内に撮影したカラー写真（縦4：横3の比率） ・アップロードできるファイルの拡張子は .jpeg .jpg で、ファイルサイズの上限は20MB です。	A
4	卒業（見込）証明書又は学位授与（見込）証明書若しくは学位授与申請（予定）証明書及び修了（見込）証明書	出身大学の学長又は学部長の発行する卒業（見込）証明書、又は大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与（見込）証明書、若しくは短期大学長又は高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書及び最終出身学校等の長の発行する修了（見込）証明書	B

5	成績証明書	出身大学の学長又は学部長、又は最終出身学校等の長が発行したもの。高等専門学校専攻科に在籍している者は、学科在籍期間の成績証明書も提出してください。	B
6	<p>以下のいずれかの書類を提出すること。(注8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL®Test スコアシートの原本 ・TOEIC®Test スコアシートの原本 ・TOEIC デジタル公式認定証 (注9) 	<p>数学群（1群）の外国人留学生等選抜志願者、情報・生命系群（2群）、機械・知能系群（3群）、土木工学群（4群）、言語・メディア群（5群）、心理・哲学群（6群）及び社会科学群（7群）の一般選抜および外国人留学生等選抜の志願者は、入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test又はTOEIC®Testスコアシートの原本を提出（原本のコピー、PDFスコアシートからの印刷物等は原本とはみなしません）。</p> <p><u>TOEFL®Test及び海外で受験したTOEIC®Testの場合</u> スコアシートの原本を提出すること。原本のコピー、PDFスコアシートからの印刷物等は原本とはみなしません。</p> <p><u>日本国内で受験したTOEIC®Testの場合</u> スコアシートの原本である「紙によるTOEIC公式認定証」（PDFスコアシートからの印刷物等は原本とはみなしません。）を提出するか、「TOEICデジタル公式認定証」を利用してください。「TOEICデジタル公式認定証」は（注9）をご覧ください。</p>	B
7	<p>検 定 料</p> <p>30,000円を7月10日(水)までに右記により支払いのうえ、「検定料納付確認書」を提出すること。</p>	<p>①下記URLから所定の検定料納付確認書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html</p> <p>②検定料は、ATM(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ、下記により納入し、ATMの利用明細(写)又はインターネットバンキングの振込完了画面のコピー(振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるもの)を検定料納付確認書に貼り付けてください。 ※振込依頼人名は、必ず志願者本人のカナ氏名としてください。 ※振込手数料は、志願者本人負担となります。</p> <p>金額：30,000円 納入期限：7月10日(水)【期限厳守】 銀行：三菱UFJ銀行 銀行コード：0005 支店：わかたけ支店 支店コード：809 預金種別：普通 口座番号：2259391 口座名義：国立大学法人東北大学 カナ：ダイトホクダガク</p> <p>③大学院入学後も引き続き国費外国人留学生であるために延長申請を行う者(申請予定の者を含む)又は入学検定料免除申請者は納付不要です。 災害の被災者に対する入学検定料の免除については、本研究所ウェブサイトをご参照ください https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html</p> <p>④海外在住の方は、事前に情報科学研究科教務係までご連絡ください。</p>	A

8	住民票（在留資格が明記されたもの）	日本に在留する外国人（在留期間が90日を超える者）のみ提出。市区町村長の発行のもので3か月以内に発行されたもの。	B
9	郵送書類提出用封筒	市販の角形2号封筒（約24cm×約33cm）を準備のうえ、下記URLから所定のあて名票ファイルをダウンロードし、必要事項を記入・カラー印刷のうえ、封筒の表に貼り付けてください。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html	B
10	そ の 他	1) 学力を表す論文・報告書等がある場合は提出すること。	A 又は B
		2) 社会人（注3）または外国人留学生等（注2）が一般選抜へ出願する場合のみ、下記URLから所定の確認書をダウンロードしてください。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html (受入れ予定教員が作成し、自署又は押印したもの)	A

提出方法 (A) TAOシステムに入力またはアップロードする書類

(B) 郵送で提出する書類

TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーション・テストング・サービス (ETS) の登録商標です。

(注8) TOEFL iBT® Test、TOEFL® PBT Test および TOEIC® 公開 Test のいずれかの試験の成績を採用します。団体受験用の TOEFL ITP® Test および TOEIC® IP Test は認めません。タイプの異なる複数の試験のスコアを提出することもできます。出願時（願書受付期間最終日まで）に提出しない者は、英語の評価は0点とします。TOEFL iBT® Test については、Test Date スコアのみを出願スコアとして利用します。（MyBest™スコアは利用しません）

なお、提出が必要な志願者は次のとおりです。送付方法等の詳細は、p. 11～p. 18 を参照してください。

- ・ 数学群（1群）：外国人留学生等選抜の志願者
- ・ 情報・生命系群（2群）、機械・知能系群（3群）、土木工学群（4群）、言語・メディア群（5群）、心理・哲学群（6群）、社会科学群（7群）：一般選抜及び外国人留学生等選抜の志願者

ただし、1群、2群、3群、5群、6群及び7群については、英語を母語とする志願者は願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せってください。

(注9) TOEIC® 公開 Test のスコアについて

本研究科の出願に日本国内で受験した TOEIC Listening & Reading TEST（公開テスト）の公式スコアを提出するときは、「紙による TOEIC 公式認定証」を提出するか、「TOEIC デジタル公式認定証」を利用してください。

選択方法

- ① TAOシステムの記入項目のなかで「紙による TOEIC 公式認定証」または「TOEIC デジタル公式認定証」を選択する。
- ② 「紙による TOEIC 公式認定証」選択した場合は、スコアシートの原本を郵送する。
- ③ 「TOEIC デジタル公式認定証」を選択した場合には、TAOシステムの指定箇所に「TOEIC デジタル公式認定証」の URL をコピー&ペーストする。
TAOシステムに「TOEIC デジタル公式認定証」をアップロードする。
- ④ 「TOEIC デジタル公式認定証」を A4 用紙の紙に印刷して他の出願書類と一緒に郵送する。

◎ 社会人選抜及び外国人留学生等選抜の志願者は、上記書類のほかそれぞれ次の書類を提出してください。

〔社会人選抜志願者〕

No.	提出書類等	摘 要	提出方法
1	受 験 許 可 書	有職者のみ。所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式任意）。	A
2	在 職 証 明 書	在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式任意）。	A
3	受 入 承 諾 書	下記 URL から所定の受入承諾書をダウンロードしてください。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html (受入れ予定教員が作成し、自署又は押印したもの)	A
4	志 願 理 由 書	関心をもつ分野、研究計画、将来の目標等（A4 判用紙に記載したもの）。	A
5	卒 業 論 文 等	卒業論文、大学等における研究内容又は勤務先での業務内容等（A4 判用紙に記載したもの）。	A 又は B

〔外国人留学生等選抜志願者〕

No.	提出書類等	摘 要	提出方法
1	受 入 承 諾 書	下記 URL から所定の受入承諾書をダウンロードしてください。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html (受入れ予定教員が作成し、自署又は押印したもの)	A
2	推 薦 書	出身大学の指導教員またはそれに準ずる者が作成したもの（様式任意）。ただし、日本国内の大学等を卒業又は令和7年3月までに卒業見込みの者は、提出する必要はない。	A
3	国費外国人留学生証明書	他大学に在学している国費外国人留学生のみ (在籍大学の発行する証明書)	B
4	受 験 許 可 書	有職者は、所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式任意）。	A

提出方法 (A) TAO システムにアップロードする書類

(B) 郵送で提出する書類

4. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、原則として、筆答試験（社会人選抜は小論文等）、口述試験、成績証明書及びその他の提出書類を総合して判断します。

ただし、3群（機械・知能系群）の外国人留学生等選抜と社会人選抜においては、筆答試験の結果により口述試験を行わない場合があります。

1) 一般選抜及び外国人留学生等選抜

志願者は、「研究室（分野）一覧」（p. 21～p. 23）及び本研究科ウェブサイト（<https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/laboratory/>）を参照して配属希望順位1位の研究室（分野）を選択し、その研究室（分野）の専門試験科目群の筆答試験と口述試験を受験してください。

群番号、研究室番号及び専攻の対応は、表-1のとおりです。

また、各専門試験科目群の試験内容は、p. 11～p. 18に記載のとおりです。

表-1

専門試験科目群		研究 室 番 号	専 攻
群番号	名 称		

1	数 学 群	A01-1, A01-2, A02-1, A02-2, A03, A04	情報基礎科学専攻
		B01-1, B01-2, B02-1, B02-2, B03	システム情報科学専攻
2	情報・生命系群	A05, A07, A08, A09, A10, A11, A13, A14, A16, A17, A18	情報基礎科学専攻
		B04, B05, B06, B07, B08, B11, B12, B13, B15, B16	システム情報科学専攻
		D01, D02, D04, D05, D07-1, D07-2, D08-1, D08-2, D10, D11, D12, D13-1, D13-2, D15	応用情報科学専攻
3	機械・知能系群	A06-1, A06-2, A12-1, A12-2, A15-1, A15-2, A19-1, A19-2	情報基礎科学専攻
		B09, B10-1, B10-2, B14	システム情報科学専攻
		D03-1, D03-2, D09-1, D09-2, D14	応用情報科学専攻
4	土 木 工 学 群	C11-1, C11-2, C12-1, C12-2, C13-1, C13-2	人間社会情報科学専攻
5	言語・メディア群	C01, C06, C14, C15	人間社会情報科学専攻
6	心 理 ・ 哲 学 群	C02, C03, C04, C05, C16	人間社会情報科学専攻
		D06	応用情報科学専攻
7	社 会 科 学 群	C07, C08, C09, C10	人間社会情報科学専攻

※ 前記のほか、以下のような受験方法を選択することができます。

受験方法(1) 筆答試験については、他の専門試験科目群で受ける。(受験方法(1)を選択しようとしている理由によっては、この方法による受験が許可されない場合もあります。)

受験方法(2) 筆答試験については、本研究科の専門試験科目群にない科目によって受ける(科目によっては応じられないこともあります)。

受験方法(3) 上記の筆答試験・口述試験に代えて、自分のバックグラウンドに関連した小論文、口頭試問、外国語科目(英語)等による試験を受ける(事前の書類審査によっては、この方法による受験が許可されない場合もあります)。

これらの受験方法を希望する者は、令和6年6月14日(金)までに、必ず情報科学研究科教務係及び配属を希望する研究室の受入れ予定教員にお問い合わせください。

(1) 選抜試験日程

令和6年8月27日(火)から8月29日(木)までの間に p.11~p.18 の日程により、専門試験科目群ごとに行います。

(2) 試験会場及び試験日時

試験会場及び詳細については、TAOシステムにより受験票を送付する際にお知らせします。

試験日時等については、後掲(p.11以降)の「専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容」を参照してください。

2) 社会人選抜

社会人選抜は、官公庁・学校・企業等の技術者・教員・研究者等として、原則として2年以上勤務した経験がある者を対象とします。社会人が職場での経験を勉学・研究に生かすとともに、さらにその知識・技術をリフレッシュし、あるいは新たな分野の知識・技術を修得し、創造的能力を発展させることを目的としています。

選抜に当たっては、原則として小論文、口述試験及び提出書類の審査によって社会人としての業務歴又は研究内容、基礎学力の評価等を総合的に判断します。また、専攻しようとする

る研究分野とこれまでの業務歴・研究歴との関係を重視します。

各専門試験科目群の試験日程及び試験内容は、p. 19～p. 20 に記載のとおりです。また、試験会場は、前記1) 一般選抜及び外国人留学生等選抜と同じです。

5. 合格者の発表

令和6年9月6日（金）午後5時頃に合格者の受験記号番号を本研究科ウェブサイト (<https://www.is.tohoku.ac.jp/>) に掲載し、合格者に対しては、後日 TAO システムにより合格通知書を送付します。

6. 長期履修学生制度の適用

本研究科では、職業を有している等の事情（注 10）によって、標準修業年限である2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する（注 11）ことを願い出た者については、審査の上、許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といいます。

この制度に関する照会は随時受け付けますが、適用申請方法等については、合格者発表後に送付する入学手続に関する書類で通知します。

（注 10）該当者：①企業等の常勤の職員及び自ら事業を行っている者、②出産、育児、介護等を行う必要のある者、③その他、本研究科が適当と認める者

（注 11）在学年限は4年を超えることはできません。ただし、許可された在学年限の短縮を願い出ることはできます。なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意はしません。

7. 入学手続

合格者には、入学手続の案内を令和7年2月中旬に郵送します。手続時期は、令和7年3月中旬となります。

8. 必要経費

- (1) 入 学 料 282,000 円（予定額）
- (2) 授業料前期分 267,900 円<年額 535,800 円>（予定額）

（注 12）東北大学在学中の授業料は、指定銀行の預金口座からの自動引落しにより、大学に納付していただくこととなります。なお、上記の納付金額は予定額であり、授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新授業料等が適用されます。

（注 13）入学料及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、入学手続に関する書類でお知らせします。

9. 注 意 事 項

- (1) 出願後は、出願取下げ、出願書類の内容変更は認めません。また、出願書類及び検定料は返付しません。
- (2) 出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (3) 受験票は、TAO システムからダウンロードしてください。試験日10日前になってもダウンロードできない場合は、情報科学研究科教務係に問い合わせてください。
- (4) 受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので、相談を希望する者は、次の事項を記載した申出書を提出してください。申出書の様式は情報科学研究科教務係に問い合わせてください。申出書の提出を理由として、合否判定の際に不利に扱われることはありません。

*相談の期限：令和6年6月14日（金）まで

*申出書に記載する内容

- ① 相談者の氏名・住所・電話番号

- ② 出身大学等
 - ③ 受験上配慮を希望する事項
 - ④ 修学上配慮を希望する事項
 - ⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
 - ⑥ 日常生活の状況
 - ⑦ その他参考となる資料（現に治療中の者は、医師の診断書を添付）
- (5) 情報科学研究科の入学試験成績開示は本学情報公開室が対応窓口です。
<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>
- (6) 個人情報の取り扱いについて
- ① 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
 - ② 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、入学前教育、追跡調査等、入学後の学生支援関係（奨学・授業料免除及び健康管理等）、修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係、並びに調査・研究（入試の改善や志望動向の調査・分析等。入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）に利用します。
 - ③ 入試・教務関係の業務については、本学から業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき適切な取扱いがなされるよう、必要な措置を講じます。
- (7) 教育・学習データ利活用について
- 本学では、教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ（以下、「教育・学習データ」という。）を最新のデータ解析やAI技術を用いて分析し、エビデンスに基づいた教育を実施していくことが重要と考えています。
- そのため、「教育・学習データ利活用宣言」、「東北大学教育・学習データ取扱8原則」、「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、教育・学習データを有効かつ適正に利活用し、本学における教育・学習支援の充実・改善を図るとともに国民と人類の福利に貢献していきます。
- 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データに統合して取り扱います。
- URL：<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/>
- (8) 本学では、外国為替及び外国貿易法に基づき、国立大学法人東北大学安全保障輸出管理規程を定め、外国人留学生等の受入れに際し審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究テーマに制約がかかる場合があります。

令和6年6月

東北大学大学院情報科学研究科

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09

電話（022）795-5814

e-mail: is-kyom@grp.tohoku.ac.jp

<https://www.is.tohoku.ac.jp/>

- ① 社会人選抜及び外国人留学生等選抜については、1月上旬願書受付、1月下旬（1・5・6・7群）および3月上旬（2・3・4群）の試験日程でも募集を行う予定です。
 - ② 一般選抜についても専門試験科目群によっては、1月上旬願書受付、1月下旬（1・5・6・7群）および3月上旬（2・3・4群）の試験日程でも募集を行う予定です。
- これらの募集要項は、11月上旬に発表します。

専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容

令和7年4月

前期2年の課程 一般選抜

群番号1 数学群	
筆答試験 ※	<p>専門科目 8月28日(水) 10:00~13:00</p> <p>4題(英文表記の微分積分と線形代数の各1題、和文・英文併記の微分積分と線形代数の各1題)を解答すること。いずれの問題も解答は日本語でよい。</p>
口述試験	<p>8月28日(水)又は8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。</p> <p>出身大学における卒業研究(予定)の内容又は主として研究した数学の分野について10分程度で発表する(PCプロジェクター使用可)。希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。</p> <p>以下の書類各5部を当日持参すること:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語による発表内容の概要(A4版用紙1ページ程度) ・英語による発表内容の概要(A4版用紙1ページ程度) ・入学後に希望する研究テーマの概要(日本語でA4版用紙1ページ程度)

群番号2 情報・生命系群	
筆答試験 ※	<p>英語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test又はTOEIC®Testのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFL®Testの場合はTest Taker Score Report(受験者用控えスコア票)であり、TOEIC®Testの場合はOfficial Score Certificate(公式認定証)である。TOEFL iBT Home Editionのスコアシートも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report(公式スコア票)を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国ETSから本研究科に到着するよう各自手配すること(送付のための本研究科DIコードは2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p>
	<p>基礎専門科目 8月27日(火) 9:40~11:20 (集合時間 9:00)</p> <p>物理・情報系:電磁気学、電気回路、計算機ハードウェア、計算機ソフトウェア、物理、数学基礎の6題から2題選択</p> <p>医学・生物系:バイオインフォマティクス、分子生物学、健康科学の3題から2題選択</p>
	<p>注意:受験する系(物理・情報あるいは医学・生物)を願書の専門試験科目群名(情報・生命系群)とあわせて記入すること。また、各科目の出題範囲については工学研究科電子情報システム・応物系教務担当(TEL:022-795-7185)に照会するか、あるいは</p> <p>https://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/のウェブサイトを確認すること。</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。</p>

群番号3 機械・知能系群	
筆答試験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き、願書受付期間内に、スコアシートの原本を提出できない場合は、出願を受理しない。(ただし、願書受付期間後に提出できる回の TOEIC 公開テストのスコアシートを提出する場合は除く。その場合でも、指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。)
	数 学 A 8月27日(火) 9:30~10:30 (集合時間 8:50) 微積分、線形代数、ベクトル解析
	数 学 B 8月27日(火) 13:00~14:00 常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換
	専門科目 8月28日(水) 9:30~11:30 (下記5科目から2科目選択) 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学
	注意:成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。
口述試験	8月29日(木) 13:30~ (集合時間 13:00) 卒業研究(予定)の内容、入学後の研究希望等について試問する(入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要)。

群番号4 土木工学群	
筆答試験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートは認めない。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。
	小 論 文 8月27日(火) 9:30~11:00 土木工学関連のテーマ
	基礎科目 8月27日(火) 13:00~14:00 以下の4問から2問を選択すること。 微分積分(1問)、線形代数(1問)、確率統計(1問)、生物・生態学(1問)
	専門科目 8月27日(火) 15:00~16:00 以下の3科目(社会基盤デザイン学、水環境デザイン学、都市システム計画学)から1科目を選択し、選択した科目内の2問を選択すること。 社会基盤デザイン学:構造工学(1問)、コンクリート工学(1問)、地盤工学(1問) 水環境デザイン学:水理学(1問)、河川工学(1問)、水質工学(1問)、環境計画(1問) 都市システム計画学:計画数理(1問)、交通計画(1問)、交通工学(1問)
	備 考 (1) 電卓・辞書及び計算機能や通信機能のある時計の使用は認めない。 (2) 過去の入試問題・出題範囲は、以下のウェブサイトを参照すること。 https://www.civil.tohoku.ac.jp/admission/index.html
口述試験	8月27日(火)又は8月28日(水) 試験日時については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する(入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要)。

群番号5 言語・メディア群	
筆答試験 ※	<p>英 語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p>
	<p>専門科目 8月28日(水) 10:00~13:00</p> <p>以下のうち、1つの学系を選択のこと。</p> <p>言 語 系: 統語論・形態論、意味論、歴史言語学、計算言語学を範囲とする。言語系の問題から、3問を選択解答すること。</p> <p>メディア系: 文学理論・批評理論、メディア論、文化研究、教育工学、情報リテラシー論を範囲とする。メディア系の問題から、3問を選択解答すること。</p>
口述試験	<p>8月28日(水) 又は 8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について 15分程度で発表(PC プロジェクター使用可)し、その内容及び今後の研究計画等について 10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図表等を A4判用紙に記載したもの)を、当日4部持参すること。</p>

群番号6 心理・哲学群	
筆答試験 ※	<p>英 語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p>
	<p>専門科目 8月28日(水) 10:00~13:00</p> <p>心理学(感覚・知覚、認知、学習・記憶、パーソナリティ、心理統計)、哲学(哲学史)に関する12題の中から4題選択</p> <p>ただし、心理群(認知情報学、学習心理情報学、認知心理情報学、コミュニケーション心理学)、哲学群(人間情報哲学、論理分析学)のそれぞれの志望者は、それぞれ問題冊子に指定された問題から少なくとも3問を選択すること。</p>
口述試験	<p>8月28日(水) 又は 8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について 20分程度で発表(PC プロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等を A4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。</p>

群番号7 社会科学群	
筆答試験 ※	<p>英 語</p> <p>入学試験初日から原則過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p> <p>専門科目 8月28日(水) 10:00~13:00</p> <p>以下のうち、1つの学系を選択</p> <p>社会学系:社会学理論、地域社会学、市民社会論、社会調査法を範囲とする4問題から2問題選択</p> <p>政治学系:現代政治論、政治学方法論、比較政治学、政治意識論を範囲とする4問題から2問題選択</p> <p>経済学系:ミクロ経済学、応用経済学、統計学、経済数学を範囲とする4問題から2問題選択</p> <p>必要に応じて電卓を出題者が用意する。</p> <p>※受験する学系(社会学系、政治学系、あるいは経済学系)を願書の専門試験科目群名(社会科学群)と併せて記入すること。出願後に受験する学系を変更することは認めない。</p>
口述試験	<p>8月28日(水)又は8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。</p>

- ※ 各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。ただし、2,3,4,5,6,7群については、TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本、日本国内で受験した TOEIC®Test の「TOEIC デジタル公式認定証」を出願時に必ず提出してください。

群番号1 数学群	
筆答試験 ※	<p>専門科目 8月28日(水) 10:00~13:00</p> <p>4題(英文表記の微分積分と線形代数の各1題、和文・英文併記の微分積分と線形代数の各1題)を解答すること。</p>
	<p>英語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること(送付のための本研究科 DI コードは2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問い合わせること。</p>
口述試験	<p>8月28日(水)又は8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。</p> <p>出身大学における卒業研究(予定)の内容又は主として研究した数学の分野について10分程度で発表する(PCプロジェクター使用可)。希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。</p> <p>以下の書類各5部を当日持参すること:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語による発表内容の概要(A4版用紙1ページ程度) ・入学後に希望する研究テーマの概要(日本語又は英語でA4版用紙1ページ程度)

群番号2 情報・生命系群	
筆答試験 ※	<p>基礎専門科目 8月27日(火) 9:40~11:20 (集合時間 9:00)</p> <p>物理・情報系:電磁気学、電気回路、計算機ハードウェア、計算機ソフトウェア、物理、数学基礎の6題から2題選択</p> <p>医学・生物系:バイオインフォマティクス、分子生物学、健康科学の3題から2題選択</p>
	<p>英語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること(送付のための本研究科 DI コードは2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p>
	<p>注意:受験する系(物理・情報あるいは医学・生物)を願書の専門試験科目群名(情報・生命系群)とあわせて記入すること。また、各科目の出題範囲については工学研究科電子情報システム・応物系教務担当(TEL:022-795-7185)に照会するか、あるいは https://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ のウェブサイトを確認すること。</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。</p>
口述試験	<p>8月28日(水)又は8月29日(木) 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(予定)の内容、及び入学後の研究希望等について10分程度で発表。なお、発表する内容に関する資料(A4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること(本学出身の外国人留学生については上記の発表を免除することがある)。</p>

群番号3 機械・知能系群	
筆答試験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き、願書受付期間内に、スコアシートの原本を提出できない場合は、出願を受理しない。(ただし、願書受付期間後に提出できる回の TOEIC 公開テストのスコアシートを提出する場合は除く。その場合でも、指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。) スコアシートにおける Test Date スコアが基準 (TOEFL-PBT 550 点、TOEFL-iBT 79 点または TOEIC 730 点) に満たない場合は「不合格」とする。
	数 学 A 8月27日(火) 9:30~10:30 (集合時間 8:50) 微積分、線形代数、ベクトル解析
	数 学 B 8月27日(火) 13:00~14:00 常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換
	専門科目 8月28日(水) 9:30~11:30 (下記5科目から2科目選択) 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学
	注意: 成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。
口述試験	8月29日(木) 集合時間は別途連絡する(筆答試験の結果により口述試験を行わない場合がある)。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について10分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。 なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日13部持参すること。ただし、本学出身の外国人留学生については、上記の発表は不要であるが、卒業研究(予定)の内容、入学後の研究希望等について試問する。

群番号4 土木工学群	
筆答試験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。ただし、TOEFL iBT Home Edition のスコアシートは認めない。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149) 。
	基礎科目 8月27日(火) 13:00~14:00 以下の4問から2問を選択すること。 微分積分(1問)、線形代数(1問)、確率統計(1問)、生物・生態学(1問)
	専門科目 8月27日(火) 15:00~16:00 以下の3科目(社会基盤デザイン学、水環境デザイン学、都市システム計画学)から1科目を選択し、選択した科目内の2問を選択すること。 社会基盤デザイン学: 構造工学(1問)、コンクリート工学(1問)、地盤工学(1問) 水環境デザイン学: 水理学(1問)、河川工学(1問)、水質工学(1問)、環境計画(1問) 都市システム計画学: 計画数理(1問)、交通計画(1問)、交通工学(1問)
	備 考 (1) 電卓・辞書及び計算機能や通信機能のある時計の使用は認めない。 (2) 過去の入試問題・出題範囲は、以下のウェブサイトを参照すること。 https://www.civil.tohoku.ac.jp/admission/index.html
口述試験	8月27日(火)又は8月28日(水) 試験日時については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。また、日本語能力についても判定する。

群番号5 言語・メディア群	
筆答試験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149) 。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。
	専門科目 8月28日(水) 10:00~13:00 以下のうち、1つの学系を選択のこと。 言 語 系: 統語論・形態論、意味論、歴史言語学、計算言語学を範囲とする。言語系の問題から、2問を選択解答すること。 メディア系: 文学理論・批評理論、メディア論、文化研究、教育工学、情報リテラシー論を範囲とする。メディア系の問題から、2問を選択解答すること。
口述試験	8月28日(水)又は8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について15分程度で発表(PCプロジェクター使用可)し、その内容及び今後の研究計画等について10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図表等をA4判用紙に記載したもの)を、当日4部持参すること。

令和7年4月

前期2年の課程 外国人留学生等選抜

群番号6 心理・哲学群	
筆答試験 ※	<p>英 語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p>
	<p>専門科目 8月28日(水) 10:00~13:00</p> <p>心理学(感覚・知覚、認知、学習・記憶、パーソナリティ、心理統計)、哲学(哲学史)に関する12題の中から3題選択</p> <p>ただし、心理群(認知情報学、学習心理情報学、認知心理情報学、コミュニケーション心理学)、哲学群(人間情報哲学、論理分析学)のそれぞれの志望者は、それぞれ問題冊子に指定された問題から選択すること。</p>
口述試験	<p>8月28日(水)又は8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。</p>

群番号7 社会科学群	
筆答試験 ※	<p>英 語</p> <p>入学試験初日から原則過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p>
	<p>専門科目 8月28日(水) 10:00~13:00</p> <p>以下のうち、1つの学系を選択</p> <p>社会学系:社会学理論、地域社会学、市民社会論、社会調査法を範囲とする4問題から2問題選択</p> <p>政治学系:現代政治論、政治学方法論、比較政治学、政治意識論を範囲とする4問題から2問題選択</p> <p>経済学系:ミクロ経済学、応用経済学、統計学、経済数学を範囲とする4問題から2問題選択</p> <p>英語で解答することもできる。必要に応じて電卓を出題者が用意する。</p> <p>※受験する学系(社会学系、政治学系、あるいは経済学系)を願書の専門試験科目群名(社会科学群)と併せて記入すること。出願後に受験する学系を変更することは認めない。</p>
口述試験	<p>8月28日(水)又は8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。発表は英語で行うこともできる。</p>

※ 各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。ただし、TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本、もしくは日本国内で受験した TOEIC®Test の「TOEIC デジタル公式認定証」を出願時に必ず提出してください。

令和7年4月

前期2年の課程 社会人選抜

群番号1 数学群	
小論文	8月28日(水) 10:00~11:30 数学における基礎的な概念や用語の理解度を問う出題を含む。
口述試験	8月28日(水)又は8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。 勤務先において又は個人で主として研究した数学の分野について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。 以下の書類各5部を当日持参すること: ・日本語による発表内容の概要(A4版用紙1ページ程度) ・英語による発表内容の概要(A4版用紙1ページ程度) ・入学後に希望する研究テーマの概要(日本語又は英語でA4版用紙1ページ程度) ただし、日本語を母語としないものは、日本語による発表内容の概要は必要ない。

群番号2 情報・生命系群	
口述試験	8月28日(水)又は8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。 これまでの研究(業務)の内容及び入学後の研究希望等について10分程度で発表。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号3 機械・知能系群	
筆答試験	数学A、数学B及び専門科目の計7科目から2科目を選択(あらかじめ申告すること)。専門科目の筆答試験終了時刻は、選択する科目により異なる。 数学A 8月27日(火) 9:30~10:30 (集合時間 8:50) 微積分、線形代数、ベクトル解析 数学B 8月27日(火) 13:00~14:00 常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換 専門科目 8月28日(水) 9:30~11:30 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学 注意:成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。
口述試験	8月29日(木) 集合時間は別途連絡する(筆答試験の結果により口述試験を行わない場合がある)。 これまでの研究内容及び入学後の研究希望等について10分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等はA4判用紙に記載したもの)を、当日13部持参すること。英語の能力を問う場合もある。 備考 提出書類による事前審査によって、筆答試験を免除することがある。 詳細は機械・知能系群に問合せること。 照会先:機械・知能系教務担当(TEL)022-795-7030

群番号4 土木工学群	
小論文	8月27日(火) 9:30~11:00 土木工学関連のテーマ
口述試験	8月27日(火)又は8月28日(水) 試験日時については別途連絡する。 勤務先における研究・業務の内容を10分程度で発表(PCプロジェクター使用可。ただし、PCプロジェクターを使用する場合は、試験実施前日までに情報科学研究科教務係へ問合せること)。発表の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日8部持参すること。

令和7年4月

前期2年の課程 社会人選抜

群番号5 言語・メディア群	
小論文	8月28日(水) 10:00~11:30 当日指定する論述問題に解答する。
口述試験	8月28日(水)又は8月29日(木) 実施日、開始時刻については別途連絡する。 出身大学・勤務先における研究(業務)内容および今後の研究計画について15分程度で発表し(PCプロジェクター使用可)、10分程度で試問する。研究計画は、以下の専門分野に関するものとする。 言語系:統語論・形態論、意味論、歴史言語学、計算言語学 メディア系:文学理論・批評理論、メディア論、文化研究、教育工学、情報リテラシー論 なお、発表内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日4部持参すること。

群番号6 心理・哲学群	
小論文	8月28日(水) 10:00~11:30 テーマは当日提示する。
口述試験	8月28日(水)又は8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。 勤務先における研究(業務)内容及び入学後の研究計画を20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号7 社会科学群	
小論文	8月28日(水) 10:00~13:00 試験時に指示される課題から1題を選択し小論文を作成すること。 社会学・政治学・経済学の範囲から希望研究分野に関連した課題が出題される。
口述試験	8月28日(水)又は8月29日(木) 試験日時については別途連絡する。 勤務先における研究(業務)内容を20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

令和7年度 東北大学大学院情報科学研究科「研究室（分野）一覧」

【令和6年5月1日現在】

○各研究室(分野)の研究内容等は本研究科ウェブサイト (<https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/laboratory/>) を参照してください。
教員名が(未定)とある研究室は選べません。

群番号	名称	講座名	研究室(分野)名	研究室番号	教員名	専攻	
1	数 学 群	情報基礎数理学講座	情報基礎数理学Ⅰ	A01-1	教授 宗政 昭弘*	情報基礎科学専攻	
				A01-2	准教授 BAO YUANYUAN		
			情報基礎数理学Ⅱ	A02-1	教授 須川 敏幸		
				A02-2	(未定)		
			情報基礎数理学Ⅲ	A03	教授 田中 太初		
		情報基礎数理学Ⅳ	A04	教授 瀬野 裕美*			
		システム情報数理学講座	システム情報数理学Ⅰ	B01-1	教授 原田 昌晃		システム情報科学専攻
				B01-2	准教授 船野 敬		
			システム情報数理学Ⅱ	B02-1	教授 内藤 貫太		
				B02-2	准教授 根元多佳子		
統計数理学	B03	教授 荒木由布子					
2	情報・生命系群	情報応用数理学講座	数理情報学	A05	教授 大関 真之	情報基礎科学専攻	
		計算科学講座	計算理論	A07	(未定)		
			計算機構論	A08	教授 青木 孝文 准教授 伊藤 康一		
			知能集積システム学	A09	教授 張山 昌論 准教授 Waidyasooriya Hasitha Muthumala		
		ソフトウェア科学講座	ファームウェア科学	A10	(未定)		
			ソフトウェア基礎科学	A11	教授 住井英二郎 准教授 松田 一孝		
		情報論理学講座	情報論理学	A13	教授 中野 圭介		
		コミュニケーション論講座	コミュニケーション論	A14	教授 長谷川 剛		
		情報セキュリティ論講座	情報セキュリティ論	A16	教授 栗林 稔 准教授 酒井 正夫 准教授 磯邊 秀司		
		広域情報処理論講座	広域情報処理論	A17	(未定)		
		データ基礎情報学講座	データ基礎情報学	A18	教授 早川 美徳* 准教授 三石 大		
		知能情報科学講座	アルゴリズム論	B04	教授 周 暁 准教授 鈴木 顕	システム情報科学専攻	
			知能システム科学	B05	教授 篠原 歩 准教授 吉仲 亮		
			自然言語処理学	B06	准教授 坂口 慶祐		
		生体システム情報学講座	情報生物学	B07	教授 大林 武 准教授 湯田 恵美		
			情報システム評価学	B08	教授 伊藤 健洋 准教授 全 眞嬉		
音情報科学講座	音情報科学	B11	教授 坂本 修一				
高次視覚情報学講座	高次視覚情報学	B12	准教授 Chia - Huei Tseng				

群番号	名称	講座名	研究室(分野)名	研究室番号	教員名	専攻
2	情報・生命系群	情報コンテンツ学講座	情報コンテンツ学	B13	教授 北村 喜文 准教授 藤田 和之	システム情報科学専攻
		ソフトウェア構成論講座	ソフトウェア構成論	B15	教授 海野 広志	
		人工知能基礎学講座	人工知能基礎学	B16	教授 鈴木 潤	
		応用情報技術論講座	物理フラクチュオマティクス論	D01	教授 田中 和之**	応用情報科学専攻
				情報通信技術論	D02	
		応用生命情報学講座	生命情報システム科学	D04	教授 木下 賢吾 准教授 西 羽美	
			バイオモデリング論	D05	(未定)	
		情報通信ソフトウェア学講座	情報通信ソフトウェア学	D07-1	教授 中村 隆喜	
				D07-2	准教授 阿部 亨	
		情報ネットワーク論講座	情報ネットワーク論	D08-1	教授 菅沼 拓夫	
				D08-2	准教授 後藤 英昭	
		ブレインファンクション集積学講座	ブレインファンクション集積学	D10	(未定)	
		健康情報学講座	健康情報学	D11	教授 伊藤 千裕 准教授 井上 淳 准教授 建部 俊介	
		複雑系統計科学講座	複雑系統計科学	D12	客員教授 吉本 敦** 客員准教授 三分一史和 客員准教授 小山 慎介	
		先端応用データ科学講座	先端応用データ科学	D13-1	教授 志賀 元紀	
D13-2	教授 山田 和範					
暗号プロトコル論講座	暗号プロトコル論	D15	教授 水木 敬明			
3	機械・知能系群	情報応用数理学講座	計算数理科学	A06-1	教授 山本 悟*	
				A06-2	准教授 古澤 卓	
		ソフトウェア科学講座	アーキテクチャ学	A12-1	教授 小林 広明*	
				A12-2	准教授 佐藤 雅之	
		高性能計算論講座	高性能計算論	A15-1	教授 滝沢 寛之	
				A15-2	(未定)	
		先進的計算システム論講座	先進的計算システム論	A19-1	客員教授 佐野 健太郎	
				A19-2	客員准教授 佐藤 賢斗	
		知能ロボティクス学講座	イメージ解析学	B09	教授 岡谷 貴之	システム情報科学専攻
			知能制御システム学	B10-1	教授 橋本 浩一	
		B10-2		(未定)		
		融合流体情報学講座	融合流体情報学	B14	教授 石本 淳	
応用情報技術論講座	人間-ロボット情報学	D03-1	(未定)	応用情報科学専攻		
		D03-2	准教授 昆陽 雅司			
流動システム情報学講座	流動システム情報学	D09-1	教授 服部 裕司			
		D09-2	准教授 廣田 真			
タフ・サイバーフィジカルAI学講座	タフ・サイバーフィジカルAI学	D14	教授 大野 和則 准教授 岡田 佳都			

群番号	名称	講座名	研究室(分野)名	研究室番号	教員名	専攻
4	土木工学群	人間社会計画学講座	空間計画科学	C11-1	教授 井料 隆雅	人間社会情報科学専攻
				C11-2	准教授 井上 亮	
			社会システム計画学	C12-1	教授 河野 達仁	
				C12-2	准教授 福本 潤也	
			交通制御学	C13-1	教授 赤松 隆	
				C13-2	准教授 原 祐輔	
5	言語・メディア群	人間情報学講座	言語情報学	C01	准教授 齊藤 いつみ	人間社会情報科学専攻
			言語テキスト解析論	C06	教授 小川 芳樹	
		メディア情報学講座	メディア文化論	C14	准教授 森田 直子 准教授 坂田 邦子	
			情報リテラシー論	C15	准教授 長濱 澄	
6	心理・哲学群	人間情報学講座	学習心理情報学	C02	准教授 細田 千尋	人間社会情報科学専攻
			認知心理情報学	C03	教授 松宮 一道 准教授 和田 裕一	
			人間情報哲学	C04	教授 森 一郎	
			論理分析学	C05	准教授 大森 仁	
		コミュニケーション心理学講座	コミュニケーション心理学	C16	教授 邑本 俊亮*	
		応用生命情報学講座	認知情報学	D06	教授 松宮 一道	応用情報科学専攻
7	社会科学群	社会政治情報学講座	社会構造変動論	C07	教授 徳川 直人** 教授 岡田 彩	人間社会情報科学専攻
			政治情報学	C08	准教授 河村 和徳 准教授 原田 勝孝	
		社会経済情報学講座	都市社会経済システム分析	C09	教授 曾 道智 准教授 伊藤 亮	
			地域計量システム分析	C10	准教授 藤原 直哉	

*印の教員は、令和8年3月退職予定です。

**印の教員は、令和9年3月退職予定です。